

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月8日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300864
法人名	有限会社 うえの福祉会
事業所名	グループホームうえの
所在地	鹿児島県鹿屋市上野町5200番地1 (電話) 0994-40-3181
自己評価作成日	平成26年11月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年11月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・当ホームは、現在11年目を迎え、利用者様の重度化に伴い終末期を迎えてきています。当ホームでは、在宅支援の専門医師との医療連携がしっかりできており、24時間での体制の充実が図れ、安心した医療連携が行えているところです。
- ・年々利用者様のニーズも多様化してきており、ご家族様、利用者様のニーズに答えて行く為にもスタッフの質向上に力を入れています。毎年介護専門職(介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士など)の免許取得へ取組み、毎年合格者を排出しております。
- ・当ホームでは、利用者様の楽しみでもある、入浴も車いすのまま入れる、特殊浴槽を完備しており、スタッフの介護軽減や腰痛対策にも配慮し仕事のやりやすい環境を整えているところです。また、利用者様がいつまでもお元気で過ごして頂く1つとしまして機能訓練士によります「ほぐし」を行っており、利用者様から「気持ち良かった」と大変喜んで頂いております。
- ・今後ますます医療的ケアが必要となってくることが予想されます。利用者様、ご家族様が納得し、満足して頂けるようなサービス提供に日々近づけるよう、職員一同質の向上を目指し利用者様、ご家族様と共に歩んでいきたいと思っております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、広々とした敷地内に有料老人ホームやデイサービスセンターが隣接している。各事業所職員間の協力体制が構築されており、利用者も散歩や合同の行事での交流を通して馴染みの関係を築いている。
- ・町内会に加入して地域の行事や清掃作業などに参加している。隣近所や地域とのつきあいを大切にしている。
- ・身体拘束については、年間計画を作成し、定期的に委員会を開催して、内部や外部研修に積極的に参加し、身体的・精神的な苦痛を利用者に与えないように、全職員が取り組んでいる。日中、玄間の鍵をせずに職員の見守りで自由な暮らしを支援している。
- ・馴染みの人間関係を大切に、近くを散歩しながら、知り合いの農作業をしている住民と挨拶したり話しかけたりしている。知人と気軽に面会で交流も行われている。近所の友人もお茶を飲みながらゆっくり談笑して過ごしている。
- ・防災については、消防署の指導のもと避難訓練を実施している。地域の防災協力隊も訓練に参加している。避難場所は同グループ内の通所施設になっている。災害時の備蓄もある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・「家族や地域住民との時間を大事にします。」という理念のもと、日頃からその実践に取り組んでいけるように心がけている。	理念は地域密着という視点で全職員で見直しを行い、事業所内に掲示している。職員と利用者が一緒に理念を唱和してホームの目指す理念を再確認し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域の行事（夏祭りや敬老会など）に利用者、職員が参加し、事業所は開放的な環境に配慮して地域との連携、交流を実現している。	自治会に加入し、地域行事や清掃作業・ホームの行事に住民と利用者及び職員が相互に参加したり、ボランティア及び中学生の職場体験や専門学校生の実習受け入れも積極的に行う等、地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・地域にオープンな雰囲気を作って、グループホームとしての役割を意識し、うへの福祉会の他事業所との連携も図りながら地域の認知症の人への支援に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・2ヶ月に1度の運営推進会議において報告を行い、出席者の話から地域のニーズなどを汲み取って日頃のサービスや地域への貢献に繋げられるように努めている。	会議は定期的に行われ、ホームの行事等も含め近況報告・外部評価結果報告等をして、意見交換を行ないサービスの向上に活かしている。参加者から緊急通報装置の設置要望があり検討中である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>・利用者の方へ適切なサービスを提供するため、日頃から市町村担当者と連携を図り、運営推進会議に参加いただくなど協力を得ている。</p>	<p>市担当者とは認定更新や書類提出で行政に出向いた折に相談したり、市担当者が運営推進会議に参加し、事業所の状況について意見やアドバイスを受けている。生活保護や介護保険担当の市職員とも日頃からこまめに相談や連絡を行なって、情報収集や意見交換に努め、密に連携を取っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・適切なケアが利用者の方の安易な生活に直結するという事を全職員が理解し、特に身体拘束については内部外部での研修を通して勉強し、より良いケアの実践を目指している。</p>	<p>身体拘束ゼロをめざして、社内に身体拘束廃止委員会を設けており、年間計画を作成して定期的に委員会を開催し、内部・外部研修に積極的に参加して身体的・精神的な拘束ををしない支援を全職員が取り組んでいる。日中、玄関の施錠はせずに職員の見守りで自由に外出できるようにしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・内部研修を組織し、その委員を中心に研修を行い、全職員が、高い意識を持って虐待防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・個々の職員が資格試験に挑戦する中で制度について触れ、外部研修やそれを基にした内部研修で理解を深めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・書面による説明と同意により契約を締結し、その説明の場面では、何でも聞いてもらえるような雰囲気を中心掛けて、フォローアップにも配慮している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・本人のニーズについて普段の会話や観察から把握に努め、ご家族の思いは、面会時や連絡時あるいは家族会や運営推進会議の中で伺い、日頃のケアや運営に反映させている。</p>	<p>利用者からは日常の生活の中で思いを聞いている。家族からは面会時や家族会の開催時などに利用者の状況報告をして意見が出やすいようにしている。家族会及び運営推進会議での意見や面会時に聞き取った要望等について、職員全体で話し合い対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・毎月の職員会議で職員の意見を聴取りする機会を設け、日頃の意見交換も含めて運営に反映させている。</p>	<p>管理者は職員の個別の相談や質問など気軽に聞き、ミーティングや日常のケアの現場での疑問点などをすぐに相談できる環境で、寄せられた相談はその都度対応している。月1回の職員会議やケースカンファレンスでケアや緊急時対応に関する意見等が出され、全体で検討して改善に取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・各自が向上心をもてるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・職員一人ひとりが意識向上の取り組みが行えるよう、内部、外部の研修に参加できるような環境を整えている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・外部研修などに積極的に参加し同業者同士で交流を深め質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・コミュニケーションや会話の中から本人の訴え、心の不安など傾聴し信頼関係を築き、安心できる環境を整えている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・本人、家族の要望に応えられるサービスができるように家族とも何度と話し合いながら信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・利用者、家族との会話を重視し、初期対応及び、それに続く支援がスムーズに実施できるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・利用者との会話を大切にし心の寄り添うケアを心がけ本人ができることを一緒に行いながら関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・本人、家族との連携を大切に家族面会時だけではなく電話連絡等を行い意見をもらいながら支えて行く関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・暑中見舞いや年賀状などを出し近況報告を行ったり電話等で報告し会話などを楽しまれている。	近隣を散歩しながら、知り合いの農作業をしている住民と挨拶し談笑したり、知人や近所の面会者とお茶を飲みながらゆっくり過ごしている。他事業所の知人を訪ねたり、馴染みの理容師に来てもらう等、これまでの関係を継続できるよう支援している。年賀状等のお手伝いの支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・お互いを助け合い支えあえるよう職員が間に入り、関わりあえるよう支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・本人、家族及び移転先施設等からの問い合わせに対して適切に対応できるように体制作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・利用者との会話を大切にし思いや意向を聞き取り把握に努めている。意思疎通が取りにくい方は、家族から入居時や面会時に情報を得て職員一同が情報を共有し支援している。	入居時のアセスメントや日常の会話・家族等からの情報を参考に、本人の意向を把握するよう努めている。入浴時のリラックスしているときや夜間眠れないときなどに話しを聞いている。聞き入れが困難な場合は家族などと話したり仕草等から、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人、家族からの情報収集をもとにより良いケアに繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・毎朝の申し送りや申し送りノートなどを活用し現状の把握などに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・月1回のケース会議、担当者会議だけでなく日頃のケアの現状でも意見を出したり、家族からの意見を聞き取ったり、利用者 に合った介護計画を作成できるよう心がけている。	本人や家族の意向等を基に、利用者の日常の状況を職員で話し合い、介護計画を作成している。モニタリングを6ヶ月毎に実施し、状況変化時等には随時見直しを行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・個人記録や毎日のケアプランチェック表などを独自に作成し職員間での情報の共有、介護計画に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・一人ひとりのニーズに合わせて施設内外の柔軟な支援やサービスを取り入れ、多機能化に取り組めるよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・野里小学校運動会見学、敬老会、夏祭り等、地域の行事に参加され地域の方々との交流を深められ、楽しく過ごされている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・本人、家族の希望するかかりつけ医との密な関係を築き適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診支援をしている。在宅支援診療所医師の往診及び訪問看護ステーションとの連携により、適切な医療が受けられるよう協力体制を築いている。歯科受診等は専門医療機関へ家族や職員で支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・かかりつけ医の看護師、訪問の看護師が迅速に対応できるような体制がしっかりと整っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入院、退院時に病院関係者と家族とカンファレンスなどを開催し情報交換や相談に努め密な連携関係を築いている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・早い段階で家族等に書面での十分な説明を行い日頃から主治医としっかりした連携連絡の体制を整え、良好な関係の構築に努めている。</p>	<p>契約時に終末期の取り組み指針があり、重度化等の場合に主治医から家族へ段階的に説明をして、同意書をもらっている。家族等の意向に沿って、在宅支援診療所等と職員がチームで支援している。24時間医療連携体制が整っており、家族と協力して終末期ケアに取り組めるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・緊急時のマニュアルを備え器具の使用法、緊急通報など何度と研修を重ね、共通認識に努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・年2回避難訓練を行い地域住民、消防団の協力を頂き、協力体制を築いている。緊急避難場所の指定も受けている。</p>	<p>年2回の避難訓練のうち1回は消防署の指導のもと行い、自主訓練も夜間想定で実施している。消防団や民生委員・地域の防災協力隊も訓練に参加している。社内の協力体制も築かれている。避難場所は同グループ内の通所施設になっている。災害用の備蓄は同一敷地内の事業所で準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・利用者の方それぞれの個性を尊重し、普段何気なく掛ける言葉にも自尊心やプライバシーを配慮し、ケアを実践している。	社内研修で外部講師による接遇、ホーム内では言葉かけについての研修を実施し、日常のケアに活かしている。記録等の個人情報保護にも細心の注意をして事務室に秘密保持を重視した管理がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・選択肢を提示したり、あるいは自然と自己決定が行えるような状況を作り出すことで希望の表出、自己決定が行えるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・職員の関わり方が利用者の方の心理的な安定に繋がる事を理解し、その人がその人らしい生活を送れるように配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・本人や家族の言葉を元に、その人の好みやお気に入りを理解して、その人らしい身だしなみやおしゃれができるようお手伝いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・年1回、嗜好調査を実施することで食事の好みを探り、例えば野菜の下ごしらえをお手伝いいただくことで食事をより楽しんでいただくなど配慮している。</p>	<p>ホームで嗜好調査を行い利用者の希望に添って、味噌汁やご飯・おやつを作っている。利用者の力量に応じて下ごしらえや準備を職員と一緒にやり、食事も職員と楽しく食べている。必要に応じて刻みやとろみ食を用意し、自分で食べられるように配慮している。家族の中にラーメン店主がいて年1回、ラーメンを食べることが楽しみになっている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・いろいろな食材を少しずつ多種取れるように工夫し、一人ひとり摂取量の目安を決めてクリアできるよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・本人の能力には配慮しながら、誤嚥性肺炎の防止の観点からも、口腔内の清潔ケアを実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中は出来るだけトイレに座っていただき、一人ひとりの排泄パターンを理解した間隔で誘導を行っている。</li> </ul>	<p>排泄チェック表で排泄パターンを記録し、尿意や便意を把握し、さりげないトイレ誘導を行い排泄の自立支援をしている。失禁時は周囲に気づかれないようにさりげない誘導に取り組んでいる。日中は布パンツを使用し、声かけや誘導でトイレでの排泄を支援している。夜間や冬は本人の状況に応じて、リハビリパンツとパットやポータブルトイレを利用している。</p>	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの状態にあったケアを工夫してセンナ茶や氷水等を上手に使用して便秘にならないよう注意している。</li> </ul>	/	/
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週3回なので曜日や時間は、ある程度限られていて、バイタル計り体調面を見ながら、入浴時間や湯の温度は、個々に応じて行っている。</li> </ul>	<p>本人や家族と話し合い計画的に週3回を基本に入浴支援をしている。利用者の状況でシャワー浴も含め、いつでも入浴できるようにしている。機械浴や一般浴があり、一人ひとりに配慮した入浴の支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・夜間不眠の方、寝れなかった方は、昼寝をして頂くように職員が配慮したり、寒暖の差を考えて掛け布団等の工夫をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・こちらで薬の保管を行っている。毎食後の薬を誤薬がないように職員同士での名前確認を行うなどし服薬支援や、状態観察、報告、確認をするよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・張り合いや喜びになるよう役割を分担して、本人の楽しみごとに近づけたらと、支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・散歩や外気浴を利用者様から要望があれば常に行い、こちらからも一押しの声掛け行う。又、買い物や、近場へのドライブ（桜、紫陽花、コスモスなど）の支援も行っている。	日常的に敷地内の散歩やテラスの外気浴を行っている。車いす対応車を使用して、季節ごとの花見にドライブを兼ねて出かけたり、家族と墓参りや外食等、家族の協力も得ながら外出できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・本人様がお金の管理が難しいことが現状であり、1名の方が自己管理している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・電話を頂いたときは本人様とお話しされ職員が日ごろの様子等をお伝えしている。手紙、年賀状等は、出来るだけ本人に書いていただき、職員も一言添えてお出ししている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・毎日清潔に心掛け生花や壁面に季節の物を飾り季節を感じて頂いている。又、季節に合わせて利用者様、職員と一緒に作品制作に取り組み楽しい雰囲気作りに努めている。</p>	<p>リビングは天井が高く開放的な空間になっており、温度が適温に調整され、加湿器付き空気清浄機で適切な環境が保たれている。採光も多く取り入れ明るい雰囲気、風呂やトイレも広く車椅子の利用者も安心して利用できる。壁面に飾られた書道や季節の作品があり、テレビコーナーのソファでくつろげる様に工夫されている。廊下の手すりには蛍光テープが貼られ夜間の移動の安全に配慮されている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・一人で過ごしたい方は、居室でゆっくりと過ごして頂きテレビの前にソファを置いてお話ししながら、ゆっくりと過ごせるスペースを確保している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・本人の使い慣れた品物や好みの物を置いて、心地よく安心して過ごせるように工夫している。</p>	<p>居室には洗面台とクローゼット・介護ベッドが設置され、壁のクリップボードに写真等を飾ったり、使い慣れた椅子や衣装箱などを持ち込み、本人が落ち着いて過ごせるよう工夫され、個性的な部屋になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・一人ひとりのアセスメントを重ね現状把握に努め、その人らしい生活が送れるように心掛けている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない